

第33号

あか牛 オーナー通信



(公財)阿蘇グリーンストック

2012年12月発行



県共進会出場 オーナー牛「トオル」



★ 師走の候、みなさまにおかれましては
ご健勝のこととお慶び申し上げます。



現在のオーナー牛

【個人契約】

1 オーナー数及びオーナー牛頭数

40名の登録で40頭となっています。2012年度は7名で8頭のオーナー希望があり、現在5頭の受入れ先が決定し、残り3頭は受入れ先を探しているところです。

2 受け入れ農家数及び頭数

木落	1戸×6頭	狩尾	6戸×12頭	小堀	1戸×1頭
北坂梨	5戸×7頭	波野	7戸×14頭		

【団体契約】

1 オーナー数及びオーナー牛頭数（団体加入の仕組みについては29号参照）

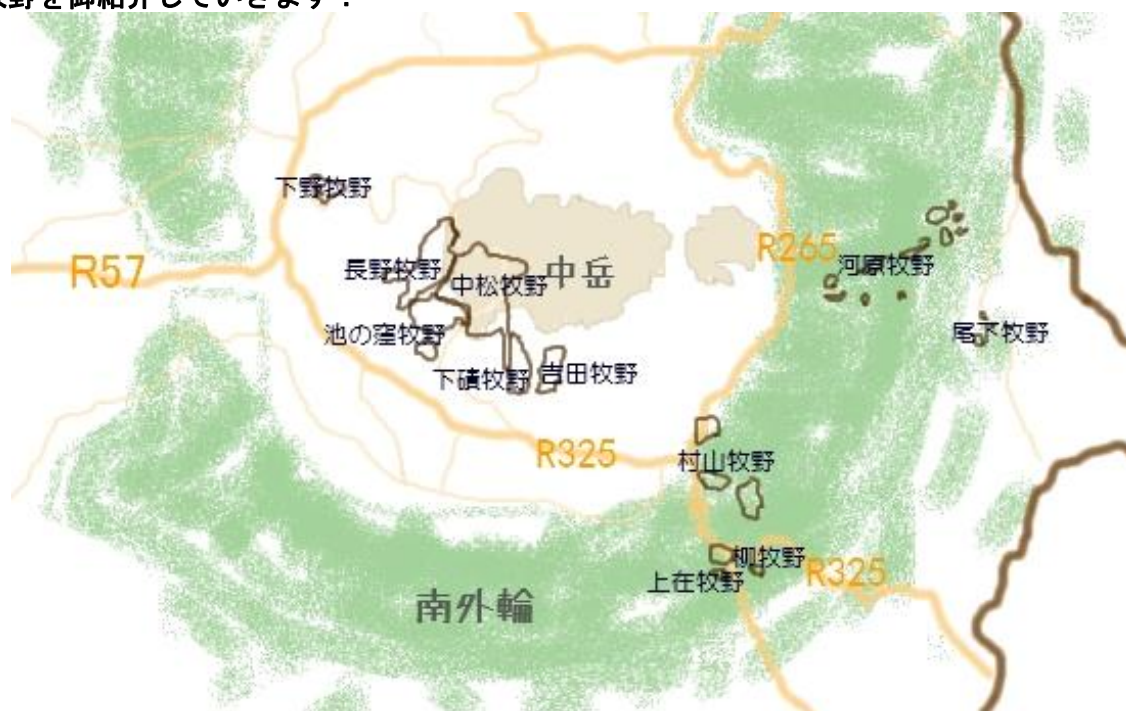
196名の登録で、42頭となっています。全て2011年度の契約です。

2 受入れ農家数及び頭数

小堀	2戸×4頭	狩尾	3戸×10頭	北坂梨	2戸×2頭
波野	2戸×2頭	町古閑	1戸×2頭	赤水	1戸×4頭
南阿蘇の牧野	18戸×18頭				

**** オーナーの受入れを希望される農家の方は事務局まで連絡をお願い致します。**

今回は肥後銀行のオーナー様の受入れから、新規に加入して下さった南阿蘇の牧野を御紹介していきます！



長野牧野

長野牧野は面積 225ha の大きな牧野で、3 軒の農家さんがオーナー牛を受入れてくださっています。垂玉温泉や地獄温泉に向かう途中の長野地区の農家さんです。



藤本さん飼養オーナー牛、名号「はるふじ」



長野さん飼養オーナー牛、「あそ」

下野（しもの）牧野

下野牧野は52 ha の、全面積を野焼きしている（H23 調査）牧野です。阿蘇ファームランドの近くに位置しています。こちらの牧野では、1 軒の農家さんがオーナー牛を受入れてくださっています。



塚本さん飼養オーナー牛、名号「第9ふくさくら」

吉田牧野

吉田牧野は92 haの牧野で、3軒の農家さんがオーナー牛を受入れてくださっています。中岳火口の丁度南側にあたる牧野です。

下碓（しもぜき）牧野



下碓牧野は68 haの、こちらも全面積を野焼きしている牧野です。1軒の農家さんがオーナー牛を受入れてくださっています。南阿蘇村の白水温泉近くに位置する牧野です。

←荒牧さん飼養のオーナー牛「ノゾミ」

中松牧野

中松牧野は553 haの牧野で、阿蘇地域で5番目の広さです。

烏帽子岳の周辺に位置する牧野で、1軒の農家さんがオーナー牛を受入れてくださっています。

宇藤さん飼養のオーナー牛「天草号」→



上在（かみざい）牧野



上在牧野は56haの牧野で、1軒の農家さんがオーナー牛を受入れてくださっています。高森町の南側に位置しています。

←松尾さん飼養オーナー牛、「愛津子」

… コラム：阿蘇での放牧の歴史とカルデラ湖 ……………

阿蘇には旧石器時代から人が暮らしていたようですが、放牧という状況が確認されているのは西暦905年の『延喜式』という書物の記載からです。『延喜式』には、「二重馬牧(現在の二重峠付近?)」・「波良馬牧(場所は不明)」という言葉が出てきます。当時の阿蘇は“馬”の放牧地として有名だったようです。

また、阿蘇に伝わる神話では阿蘇のカルデラに水が貯まっていたという鯰(なまず)の話が有名です。阿蘇のカルデラには昔本当にカルデラ湖が存在しており、湖は南郷谷(南阿蘇側)で約5万年前に消滅、阿蘇谷(阿蘇市側)で約6千年前に消滅したようです。そのためカルデラ内で人が暮らした痕跡は、南郷谷には古い時代からあり、“二重牧”があった側の阿蘇谷には遅い時代になってから現れます。長い間外輪山や斜面の上の草原で暮らしてきたために、古の人々は自然に放牧を行う生活を生み出したのかもしれませんが。

河原（かわら）牧野

河原牧野は76haの、波野寄りの高森町にある牧野です。オーナー牛を受入れてくださっているのは1軒です。

村山牧野



本田さん飼養オーナー牛、名号「ゆうこ」

村山牧野は150haの牧野で、全面積を野焼きしています。1軒の農家さんがオーナー牛を受入れてくださっており、高森町のらくだ山の周辺に位置する牧野です。

池の窪牧野

池の窪牧野は136haの牧野で、4軒の農家さんがオーナー牛を受入れてくださっています。南阿蘇村から山上へ向かう途中にある、「池の窪園地」という展望所の付近に位置しています。



下田さん飼養オーナー牛、名号「第3ふくたから」 渡辺さん飼養オーナー牛、名号「こぎく」

柳牧野



桐原さん飼養オーナー牛、名号「はなみつ」

柳牧野は36haの牧野で、1軒の農家さんがオーナー牛を受入れてくださっています。

尾下（おくだり）牧野

尾下牧野は牧戸牧野に含まれる子組合で、1軒の農家さんがオーナー牛を受入れてくださっています。

** 編集後記 **

今年も残り数えるほどとなりました。昨年導入された子牛が成長し、顔つきも他の親牛と変わらなくなっていく様子を見てみると、この「一年」という年月の大きさを感じます。また、その間牛を大切に養っている農家の方々の偉大さも感じることができます。

この度は今年最後の号となりますので、これまでほとんど掲載していなかった南阿蘇の特集とさせて頂きました。どの牛にも「草原再生」と書かれているのを不思議に思われたのではないのでしょうか。南阿蘇では草原再生募金の助成で導入した牛（背中に「草原再生」と書く決まりがあります）をオーナー牛としています。助成は阿蘇郡市内で行われたので、阿蘇に来られた際は「草原再生」の牛を見かけることができるかもしれません。

今年も一年間ありがとうございました。来年がみなさまにとって素晴らしい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

オーナー牛の写真が撮られた際に事務局までメール(下記のアドレス)で写真を送って頂けると助かります。携帯のカメラで撮った写真でもかまいません!

メールに写真を添付して頂き、メール本文には「**送り主(受入れ家庭の方)の名前**」、「**オーナーさんの名前**」、「**牛の名号**」、「**撮影日**」をわかる範囲で記して頂ければ助かります。

メールアドレス⇒ green-ma@aso.ne.jp

《会費入金のお願い》

会則で決められている通信費等の今年度分の年会費 2000 円(農家の方は 1000 円)の入金をお願いします。

一部未納の方がいらっしゃいますので、まだお済でない方は入金をお願いいたします。

あか牛オーナー制度に関してご意見・ご要望がありましたら電話、FAX、郵便でも結構ですので財団までお知らせ下さい。検討の上、可能な範囲で対応させていただきます。本制度をよりよくしていくためにもよろしくお願ひ致します。

担当:阿蘇グリーンストック 赤崎恵

2012 年 12 月

謝辞

オーナーの皆様、受入れ農家の皆様、オーナー通信に関わってくださった皆様に末筆ながらお礼申し上げます。

+++++

編集・発行

公益財団法人 阿蘇グリーンストック

〒869-2237 熊本県阿蘇市石 1537-1

TEL: 0967-35-1110 (代)

FAX: 0967-35-1151

E-mail: green-ma@aso.ne.jp

HP : <http://www.asogreenstock.com/>